



Crafts & Faces

高岡の新しい商品と作家たち



デザイン 堀内 茉莉乃

irisé

Momentum カラーのアクセサリシリーズ「irisé」はフランス語で「虹」という意味です。銅器や銅像の伝統着色を手掛ける工場ならではの“色”に着目して制作したアクセサリ。ひとつひとつの模様や発色、表情の違いをぜひ手に取って感じてください。

「Gradation_necklace」
サイズ：チェーン50cm、チャーム90mm×13mm
カラー：blue、silver、black
素材：真鍮、チェーンはK18GF
価格：14,000円（税抜）

【問】有限会社モメンタムファクトリー・Orii TEL.0766-23-9685



(上) 吊り型
(左) 置き型

「吊り型」
サイズ：W90×D90×H250mm
重量：約1350g
価格：25,000円（税抜）

「置き型」
サイズ：W103×D103×H261mm
重量：約1900g
価格：40,000円（税抜）

素材：どちらも真鍮製

真鍮鑄肌のランタンランプ 吊り型・置き型

ランタンランプの様な細長い形状で、アウトドアな雰囲気や室内に持ち込めるランプです。テーブルランプとして使える「置き型」は、持ち手と土台と中間スイッチがつきます。リビングのサイドテーブルや寝室のナイトテーブルなどで使いやすい形状です。ペンダントランプとして使える「吊り型」は、奥行きのないカウンターや窓際などで使いやすい形状です。



デザイン 大治 将典

【問】株式会社 二上
TEL.0766-23-8531



「HON-NYO」



「DEN-EN」

THE SPIRIT LAMP

食卓を優しい光で演出する美しいフォルムの真鍮製アルコールランプ。高岡発のブランド「with Taro」は日本の技を活かした、家でも外でも使える「ノマドプロダクト」を提案していきます。

「HON-NYO」 サイズ：55×55×H100mm
「DEN-EN」 サイズ：50×50×H45mm
素材：真鍮製 価格：未定

【問】漆器くにもと TEL.0766-21-0263



デザイン 戸村 亜紀



デザイン 山村 高明

Obil Oblong midium

表面に彫刻などのテクスチャー（表面の色柄や質感）を伴ったアイテムを提案しています、彫刻プロダクトブランド「Obil」。昔から水の流れや葉っぱの葉脈表現などに使われてきた彫刻柄が施されたカッティングボードでワンプレートごはんを楽しんでみてはいかがでしょうか。※10角タイプもあります。

彫刻柄：トントン彫、流し彫の2種類
サイズ：W280×D200×H18mm
素材：クルミ材にガラスコーティング+オイル仕上
価格：9,800円（税抜）

【問】アルベキ社 TEL.090-8268-1976

おもて・ひふみ (good scale シリーズ)

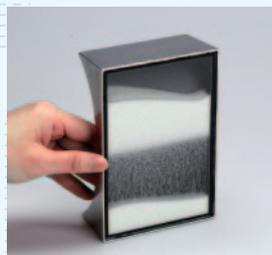
このgood scaleの商品は、高岡のものづくりサークル「クリエイイ党」*の活動から生まれたものです。すでに10年近い活動は、学生のフレッシュなアイデアを地元高岡の職人の練達した技術で具体化、高岡クラフトコンペに出品しその成果を競うところから生まれました。入選/入賞作品の商品化はこの活動の長い夢でしたが、そのプロセスは単純ではなく、地元でものづくりなどの支援を行うCREP4(クレップフォー)のサポートで実現しました。

*クリエイイ党(富山大学芸術文化学部の有志学生×高岡伝統産業青年会の有志)

「おもて」
白いガラスビーズが流れる様は、インテリアのオブジェとしてこころを癒してくれます。
サイズ：W100×D50×H145mm 価格：10,000円（税抜）

「ひふみ」
1、2、3歳と幼児の発達に合わせた本塗塗りのお祝いカトラリーセットです。
カラー：茜色(赤)、樺染(黄)、常盤色(緑) 価格：各20,000円（税抜）

【問】一般社団法人 CREP4(クレップフォー)
TEL.0766-54-6210 www.crep4.com



「おもて」



「ひふみ」



デザイン クレイイ党



クリエイイ党の活動



高岡伝統産業青年会
(クラブツーリズムの様子)



千本格子(さまのこ)の家を再現した外観



明治時代の町家を再生

高陵金寿堂

高岡銅器有限会社の竹中靖治氏が、高岡銅器発祥の地である金屋町の古い町家を改装し、2016年4月にオープンした。店内には、伝統工芸士による高岡銅器の作品や茶道具、クラフト商品などが展示・販売されている。外観は、金屋町ならではの千本格子の家を再現しているが、あえて新しい白木のままにして、長い時をかけて金屋町になじませたいとのこと。奥には、リーススペースもあり、寄席などのイベントも開催している。

住所:高岡市金屋町2-3 金屋町石畳通り沿い
営業時間:9:00~17:00
定休日:年中無休(年末年始除く) [問]高陵金寿堂 TEL.0766-75-9292

製造現場を眺められるショールーム

株式会社 二上

真鍮鑄肌を活かした生活用品ブランド「FUTAGAMI」及び建築金物ブランド「MATUREWARE」の商品を展示したショールームが9月にオープン。工場の2階部分に設置され、ガラス越しに製造現場を見ることができる。

生活空間をイメージさせるキッチンやダイニングテーブルが置かれ、それぞれ包丁立てやナイフ・フォークなどのアイテムをセッティングし、「FUTAGAMIと暮らす空間」を味わえる。「つくる場」と「使うシーン」が最も近い、新しく魅力的なショールームといえる。



住所:高岡市長慶寺1000
日曜、祝日、第2・4土曜を除く、10:00~18:00までが見学可能。
1週間前からの予約が必要で、メールにて受付。
詳しい方法は、株式会社二上のサイトをご覧ください。
<http://www.futagami-imono.co.jp>
[問]株式会社 二上 TEL.0766-23-8531

白と黒の対比で二つのブランドを見せる

有限会社 四津川製作所

2016年9月にオープンした四津川製作所の本社ショールームでは、木と金属を組合せたブランド「kisen」の商品が、白を基調にした空間に並び、商品の美しいフォルムを引き立たせている。壁側の黒いフレームで構成されたスペースでは、香炉や鉄瓶など伝統工芸品のブランド「喜泉堂」の商品が展示され、四津川製作所の技術力が感じられる空間となっている。

住所:高岡市金屋町7-15 (四津川製作所 本社内)
営業時間:10:00~17:00(予約不要)
定休日:土・日・祝・年末年始・お盆



[問] 四津川製作所 TEL.0766-30-8108



「kisen」のアイテムが並び

アルミ鑄物タイルを体感できる空間

株式会社 高田製作所



2016年2月にオープンした高田製作所のショールームは、自社開発したアルミ鑄物タイルや商品を空間に取り入れ、実際に体感できる空間となっている。鑄物タイルは、砂型で鑄造し、伝統鑄物初となるジュラルミン素材を使用している。

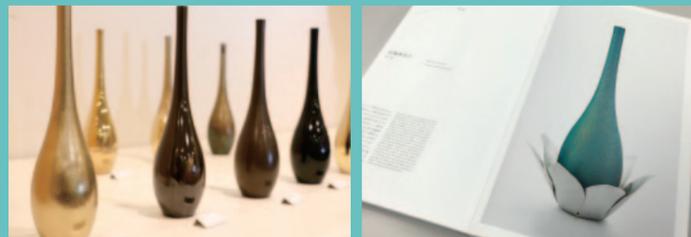
また、ショールームでは鑄物素材や仕上技術の多様性をアピールしており、3Dプリンターやレーザーマーカによるサンプル製作にも対応している。

同社では、次世代育成に力を入れており、地元の大学生や高校生などのインターンシップを受け入れ、製造している商品の企画販路開拓やデザイン作業が体験できる。

住所:高岡市戸出栄町54-7
営業時間:8:00~17:00(要予約)
定休日:土・日・祝日

[問] 株式会社 高田製作所 TEL.0766-63-6800

高岡市内に ショールームが続々とオープン



(上) 富山大和で開催された「100のそりり展」の様子。そりりにはすべて販売価格が設定されており、購入することができる。すでに、受注したものもある。(左下) 職人たちの創意工夫を引き出すためのキャンバスとして、シンプルな形のそりりを採用。(右下) 100点をまとめた図録も制作。撮影や製版技術にもこだわっている。

[問] 株式会社 能作 TEL.0766-63-5080

今後の展示の日程などについては、株式会社能作のサイトをご確認ください。
www.nousaku.co.jp

高岡伝統産業青年会が 「燕三条工場の祭典」とコラボ

高岡伝統産業青年会では、高岡の伝統産業の工場を見学するツアー「クラフトツーリズム」を、2011年から開催し、好評を得ている。

また、新潟県の燕市と三条市は、金属加工の集積地であり、工場を開放して見学者を受け入れるイベント「燕三条 工場の祭典」を行っており、毎年1万人以上の参加者があるという。

同じものづくりのまちであり、地域の活性化という共通した特性と目的を持つ高岡と燕三条が、2016年に連携イベントを展開した。

9月には、東京ビッグサイトで開催された「東京インターナショナルギフトショー」や代官山蔦屋書店において展示やワークショップを行い、それぞれの地元である高岡と燕三条でもイベントを行った。今回は初の試みであり、お互いが刺激し合うことで今後さらに活気が生まれることが期待される。



代官山蔦屋書店で行われた連携イベントの様子

高岡市の鑄物メーカー能作が、2016年に創業100周年を迎え、「100のそりり」を企画した。

「そりり」とは古来より茶席で使われている一輪挿しのこと。高岡の職人100人が、能作のそりりをベースに、それぞれの技術をもって自由にデザイン・製作した。その展示会が、2016年12月21日から27日まで富山大和で開催された。

「100周年にあたり、次の100年につながる事業をしたいと考えました。100人からどんなそりりができてくるか心配もありましたが、本当に個性豊かな作品が揃いました」。高岡の職人のすばらしさを多くの人に伝える機会としたいと、能作克治社長は語る。

「100のそりり展」は、福岡、大阪で開催され、富山は3か所目。今回は、着色、仕上、溶接、研磨、彫金、金工、漆工の7つに分類し、着色師や仕上師などそれぞれの職人の作品を展示する形とした。各工程の説明パネルでは、技術や職人の解説がされ、より深く鑑賞できる地元ならではの展示になっていた。2017年は、東京、京都、台湾で開催される。

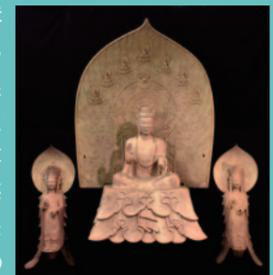
「普段は表に出ることの少ない職人さんの作品を多くの人に見てもらい、モチベーションを高めてもらえば」と、能作社長は語る。展示会を終えた100のそりりは、現在建築中の新社屋に常設展示される予定になっている。

日本仏教彫刻史における最高傑作と称されている国宝法隆寺釈迦三尊像を、産学官の連携で再現する取組みが2015年より行われてきた。

東京藝術大学が法隆寺・文化庁より許可を得て、釈迦三尊像を計測・解析。3Dプリンターを使用して原型を作成。この原型から、伝統工芸高岡銅器振興協同組合が再現制作し、井波彫刻協同組合が台座を再現した。

この取組みにより、門外不出の釈迦三尊像と同じ素材、同じ質感で複製することができ、法隆寺や日本の芸術文化、地域の伝統技術の発信につながるとしている。

高岡では、2016年3月に、フォーラム「国宝・法隆寺釈迦三尊像の再現～地域のものづくりと日本の未来に向けて～」が開催されたほか、2017年3月10日から20日まで開催される展覧会「法隆寺再現釈迦三尊像展」では、再現された仏像と東京藝術大学にて再現された金堂壁画が高岡市のウイング・ウイング高岡で展示される。



再現された釈迦三尊像(上)と台座(右)



[問]高岡市産業企画課 TEL.0766-20-1395

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/sanki/sangyo/shinsangyo/shakasanzon.html>

株式会社 能作 100周年を記念し、 100種類のそりりを製作

国宝 法隆寺 釈迦三尊像を 産学官の連携で再現